

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-8365
住 所 東京都中央区京橋一丁目5番8号
氏 名 日本冶金工業株式会社
代表取締役社長 久保田尚志

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本冶金工業株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区小島町4番2号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	製鋼・製鋼圧延業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	144,895 k l	
	☐ 自動車の台数	台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t -CO ₂	

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

川崎製造所の基本方針

以下の施策により、積極的な地球温暖化対策を進める。

- (1) ISO14001環境マネジメントシステムの環境目的・目標として省エネルギー活動及び地球温暖化防止活動によるエネルギー使用量の削減を設定して活動を展開する。
- (2) 具体的には環境管理に関する3ヵ年計画を作成し、それに従って対策を実施する。

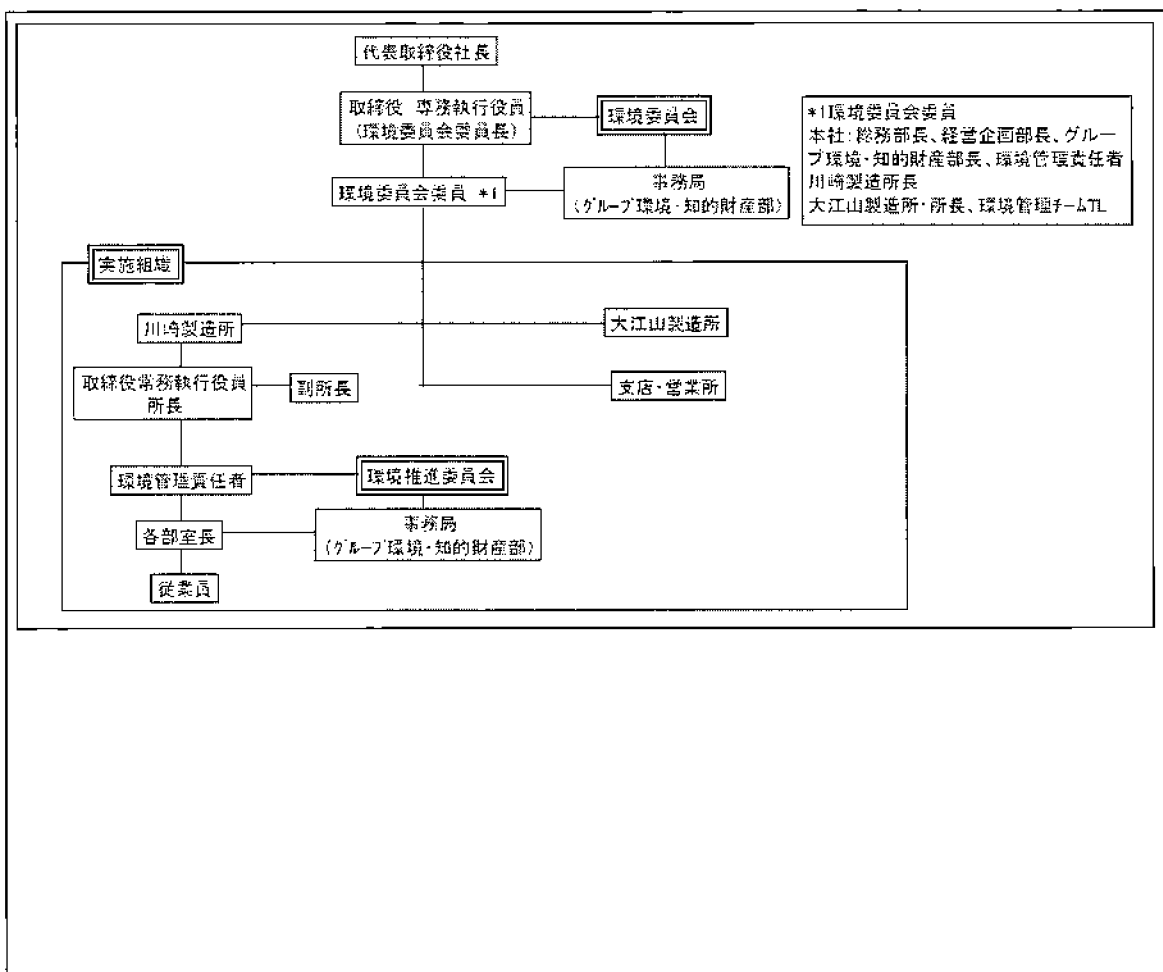
(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

①川崎製造所における「川崎製造所マネジメント通則」に従い、コスト、設備、環境マネジメントシステム等の部会において、期毎に期毎方策展開実施計画書を策定する。省エネに関する具体的方策や目標値等についてもこの中で設定する。進捗状況等については毎月評価を行うが、7月と1月に見直しを実施し、必要に応じて期毎方策展開実施計画書を改訂する。

②エネルギーの管理等については、ISO14001環境マネジメントシステムの対象となっている。また全社のエネルギーの使用に関する事項については、環境委員会で報告する。

以上により、PDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



指針様式第1号 (別紙 1事業所目) (第2面)

2 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 基準排出量と目標排出量

基	準	排	出	量	295,064	t-CO ₂
目	標	排	出	量	293,226	t-CO ₂
削		減		量	1,838	t-CO ₂
内	対策実施による削減量				1,838	t-CO ₂
訳	上記以外による削減量				0	t-CO ₂
削		減		率	0.6	%

(2) 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等(任意記載)

原単位	の活動量	造塊量	原単位等の単位	t-CO ₂ /千トン
基準年度	の値	969.0	目標年度	の値
削	減	率	0.6	%

(3) 目標設定に関する説明

- ・目標年度の造塊量は基準年度と同一(304.5千トン)とした。
- ・基準排出量から現在計画されているCO₂削減努力目標量を引いた値を目標排出量とする。
- ・目標原単位は造塊量と目標排出量から計算した。
- ・新設・更新等における措置等(添付資料③ 省エネルギー対策(案)参照)を実施することにより、2018年度実績に比べて、2021年度1838t-CO₂/年を削減目標とする。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(別表第1から6等を参考に記載してください)

No.	対策の名称	対策の内容	実施 予定年度
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。）

計 画	(1) ボイラーの更新 (2) 空気調和設備の更新 (3) トランスの更新 (4) コンプレッサーの更新 (5) インバーターの更新 (6) 照明設備の L E D 化
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

平成28年度～平成30年度実績 エアコン 23 台更新 トランス 5 台更新 L E D 化 738 灯

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	検討した結果、メリットが出ないため導入予定はない。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他(自家発電)	○	検討した結果、メリットが出ないため導入予定はない。
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	△	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	・ ナスフィラーの川崎メカニズム認証制度の認証取得 (低CO2川崎ブランドは認定は取得済み)
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による 環境保全活動の推進。 (2) 県経営者協議会、エネルギー管理指定工場連絡会、産業環境管理協会 などの主催の講習会・説明会等を通じての省エネルギー活動の対策の 調査。 (3) 運送事業者や取引先事業者に対し、環境に配慮したエコ運搬の実施を 手引に従い十数社に要請。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	295,064	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

144,895	K L
---------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎製造所	神奈川県川崎市川崎区小島町4番2号	295,064 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂